

一般質問

一般質問とは、市の事務や市が抱える課題等について市長などにたずぬるもので、**2月定例会では4名の議員が一般質問を行いました。**ここでは広報委員会、事項別に整理した一部の内容を掲載しています。

一般質問の全文は、5月下旬作成予定の本会議録を図書館や鎌倉市議会ホームページ内「会議録検索システム」でご覧ください。

- 千 一……「重度訪問介護について」「障害者地域作業所の工賃について」「障害者の就労について」「鎌倉市立の小中学校のバリアフリー化をもっと徹底的に」「江ノ電3駅と長谷駅のスロープのバリアフリー化の促進を」
- 上島 寛弘……「市長の政治姿勢等」「国民の選挙権行使の環境充実と公民教育の在り方」「市が支出する外郭団体等の労務管理の適正化等」「市の人事戦略と労務管理」
- 竹田ゆかり……「どの子ども安心して学び育つために『子どもの貧困対策』について」「市民目線に立つ公共施設のあり方『公共施設再編計画』について」「防災等について」「子どもたちの環境等について」「観光政策等について」「鎌倉のまちづくり等について」「行政事務執行等について」「市長の政治姿勢等について」
- 中澤 克之……

江ノ電のバリアフリー化について

江ノ電等のバリアフリー化について、次のような質問が行われました。

質問：長谷駅に設置されているスロープは、鎖がついていて、ベビーカーや車椅子が通れない状態だが、利用しやすいように改善できないのか伺いたい。

まちづくり景観部長：当該入り口のスロープは繁忙期に事故防止対策の臨時改札口として運用しているもので、現在は、駅係員等を配置し、踏切を渡る際の安全性を確保しながら、その利用について対応しているところである。利便性向上のため、将来的にはこの臨時改札口の開放に向け、江ノ

電社内で検討を重ねていると聞いている。

質問：稲村ヶ崎駅と腰越駅のバリアフリー化の進捗状況について伺いたい。

同部長：稲村ヶ崎駅では、平成27年6月から平成28年12月にかけて、藤沢方面にスロープを設置するなどのホーム全面改良工事を、また腰越駅では、車椅子用の昇降機を設置する予定と聞いている。今後も江ノ電と連携し、駅のバリアフリー化の実現に向けて協議・調整していきたい。

質問：鎌倉市内を通る鉄道では、JRは全駅バリアフリー化され、江ノ電もめどは立っていると思うが、湘南

海の家について

海水浴場の海の家について、次のような質問が行われました。

質問：海水浴場の海の家問題は本市のみならず近隣市も取り組みを行っているが、市長は鎌倉の海をどうしたいのか、改めて伺いたい。

市長：小さな子どもからお年寄りまで多くの市民が楽しめる海水浴場にしていきたい。私自身何度も現地を見たが、とても自分の子連れでいきたいとは思えない状況だった。改善しなくてはならないと強く感じている。

質問：マナーアップ条例が昨年制定されたが、多くの市民が懸念している海の家営業時間やクラブ化の問題こそ、盛り込むべきであったと思う。条例制定に当たり設置した「鎌倉市海水浴場のあり方・ルール協議会」は、なぜ条例を根拠としなかったのか。

市長：「かながわの海岸利用に関するあり方検討会報告書」で示された海水浴場ご

とに協議会を設置するといふ県の示した基本的な枠組みの中で、県と連携しながら進めていくこととしたからである。

質問：協議会は協議結果を市に提言することとしているが、その提言は守らなくてはいけない決定事項と考えてよいのか。

市長：そのように考えている。海の家の方についてはいくつかの意見があると思うが、市民の多くの皆さんが参加した協議会での議論の過程を大事にしていきたいと考えている。

質問：海の家営業時間は、隣接の逗子市は午後6時半まで、藤沢市は午後8時半まで、本市は午後10時までとなっている。警察からは横並びが望ましいといった要望があると聞いている。治安の専門家の発言として重く受け止めるべきだと思

うがいかか。

市長：警察から海の家営業時間を短くしてもらいたいとの強い要望があり、市としても真摯に受け止めたいと考えているが、海の家の方

子どもの貧困対策について

本市における子どもの貧困対策について、次のような質問が行われました。

質問：昨年8月に子どもの貧困対策に関する大綱が閣議決定されたが、その策定の趣旨は何か。

子どもみらい部長：子どもの将来が生まれ育った環境によって左右されることのないよう、また貧困が世代を超えて連鎖することがないよう、必要な環境整備と教育の機会均等を図るなど、子どもの貧困対策を総合的に推進することを目指して策定されたものである。

質問：平成25年度の全国学力・学習状況調査では、保護者に対して、家庭状況等の調査を実施しているが、その結果から、経済的背景と学力の関係についてどのよう

なことが見えてきたのか。

同部長：文部科学省は、**家庭の社会的背景**と学力の関係で、家庭の社会的背景が高い児童・生徒のほうが各教科の平均正答率が高い傾向が見られるが、低いからといって必ずしも全ての子ども

の学力が低いわけではないと分析している。

質問：県で、子どもの貧困対策推進計画を策定しているところであるが、この計画を受け、本市としてはどのように取り組んでいくのか。

子どもみらい部長：同計画案では、重点施策として教育の支援、生活の支援、保護者に対する就労の支援、経済的支援を四つの柱として、子どもの貧困に視点を置いた具体的な施策を体系化することとしている。本

まちづくりについて

鎌倉のまちづくり等について、次のような質問が行われました。

質問：世界遺産登録が不記載勧告となったが、再度、登録に向けた動きというのはどうなっているのか。

歴史まちづくり推進担当部長：不記載の勧告後、その原因の検証、今後の取り組みの方向性を検討し、この結果に基づき鎌倉の顕著な普遍的価値を検証するため、国内外の類似資産との比較研究を進めている。

質問：世界遺産登録を目指す町として、武家の古都・鎌倉というコンセプトで、鎌倉のまちづくりを行ってきたいが、今後の方向性を聞きたい。

同部長：歴史的遺産の顕著な普遍的価値を証明するためには、多角的な視点からの比較研究が必要であり、今後、さまざまな時代の視点から研究を進めていきたい。

質問：鎌倉のまちづくりでは、鎌倉時代だけでなく、幕末、明治など、時代ごとに、様々なレイヤーとして捉えていくという発想もある。そのような中、国指定史跡法華堂跡に島津忠久公、大江広元公、毛利季光公の墓が並んでおり、新たなレイヤーとして売り出していけると思っているが、

同部長：江戸時代の後期、法華堂跡に、薩摩藩および長州藩によって島津・毛利の墓所が同じ場所に建造された。幕末期の薩長同盟に先んじたことであり、大変興味深いと思われている。

質問：さまざまな歴史的な町では、電線の地中化を進めている。本市の岐れ道から

用語の解説

※印の用語について解説します。

就業援助 学校教育法の規定に基づき、市立の小・中学校に就学中の子どもを経済的な理由で就学させ続けることが困難な家庭に、学用品費、給食費、修学旅行費など学校でかかる費用の一部を援助するもの。

家庭の社会的背景 保護者に対する調査結果から、家庭所得、父親学歴、母親学歴の三つの変数を合成した指標のこと。

歴史的風致維持向上計画 歴史的風致の維持向上を図ろうとする市町村が策定する計画のこと。本計画を国が認定することで、国の支援を受けながら、歴史的風致の維持・向上に資するさまざまな施策を着実に進めていくことができる。

市においても、この計画の内容を十分に踏まえて、子どもの貧困対策の推進に取り組んでいきたい。

質問：これらの話を受けて、市長の感想を聞きたい。

市長：どの子ども安心して学び育つことができるように、子どもの貧困対策は、とても重要であると認識している。幅広い施策を総合的に推進していく必要があることから、将来の鎌倉を担う子どもたちが社会の中で自立した生活を営むことができるよう、国の大綱や、県が策定中の貧困対策推進計画の内容を十分に勘案して、支援施策の推進に取り組んでいきたい。